

運用開始から1年

新ルートで何が起き、どこへ向かうのか

昨年3月29日に都心低空飛行が開始されて早くも1年が経過。この間コロナ禍で運用開始当初から大幅な需要減の中で国自らが主張していた増便必要性すら喪失。しかし一旦立ち止まって様子を見て欲しいとの多くの声に応じることもなく、強引に運用を続ける国交省の姿勢。ルート下の住民は想定を超える騒音やいつ起きかわからない落下物の危険にさらされ、不快で不安な生活を余儀なくされています。また最近では沖縄、デンバー、オランダなど世界各地で重大な航空機エンジンインシデントの発生が続き、人口密集地付近での離発着がいかに危険であるか改めてクローズアップされてきました。都心の米軍ヘリ飛行も新ルートとの関係で関心を集めています。このような中で国は、3月17日には第3回羽田新経路の固定化回避に係る技術的方策検討会を開催して議論を進めています。一方市民側にも、区民投票条例や訴訟など活発な動きもあります。そこでシンポジウムではこの1年間を振り返り、合わせて今後の展望を行うことで、羽田問題の解決に役立つ情報提供が出来ることを目指します。

・基調報告 <羽田問題解決プロジェクト>

新ルート運航状況、国交省／国会議員や地方議員／自治体／市民／関連する国内外の団体や航空会社／等の動向、頻発する重大インシデントなどを包括的に整理し、羽田問題の今後を展望する。

・講演

「都心低空飛行を繰り返す米軍ヘリと羽田新ルート」
大場 弘行氏（毎日新聞 社会部記者）

「“固定化させない検討会中間報告”から見えてくるもの」
杉江 弘氏（航空評論家）



・市民運動の現場から

住民投票条例／行政訴訟の報告と訴え、都議選への共同行動呼びかけ、など。

緊急告知

シンポジウム第3弾はきゅりあん開催を中止し、オンライン開催に切替えます。

コロナ蔓延防止に伴う品川区からの協力要請を受け、

4月24日（土）品川区大井町「きゅりあんでの開催」はとりやめ、
同日、同時刻、同内容で、別のスタジオからオンライン配信を行います。

配信日時：4月24日（土）開場 18：00 イベント 18：40～21：00

参加費：500円

申し込みは（クレジットカード）事前決済制となります。

申込サイト：<https://skyvoice.online/products/detail/16>

既にきゅりあん申し込みを済ませた方には変更方法をメールでご案内します。

ご面倒をおかけしますがご理解のうえ、たくさんのお申し込みをよろしくお願いいたします。

【主催】羽田問題解決プロジェクト(<https://haneda-project.jimdofree.com/>)

【事務局問合わせ先】 teikuu20190719@gmail.com

秋田：09080225028 井上：09090006556

大村：09061936969 高池：08094018654 以上品川区 |

増間：09065425659 港区 | 吉田：09016634538 豊島区